

# トラックコンベア

## 取扱説明書

トラックコンベア  
KD-08~15ZT  
KD-22・31ZT

直結バネコン  
DB-20~65Z

### も く じ

#### ご使用になる前に

- はじめに ..... 1
- 安全のため必ずお守りください ..... 2
- 各部の名称とはたらき ..... 5
- 使用前の準備 ..... 7

#### ご使用にあたって

- 作業のしかた ..... 10

#### 知っておきたいこと

- 日常点検 ..... 12
- 長期格納のしかた ..... 12
- 不調の原因と処置 ..... 15

#### その他

- 仕様 ..... 16
- オプション ..... 16
- 消耗部品 ..... 17
- 安全確認一覧表 ..... 18

ご使用前に必ずお読みください  
いつまでも大切に保管してください

# はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使い方、保守点検等について記載してあります。

本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

## ■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

**⚠ 危険** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

**⚠ 警告** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものをしめします。

**⚠ 注意** : 注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示します。

**重要** : 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

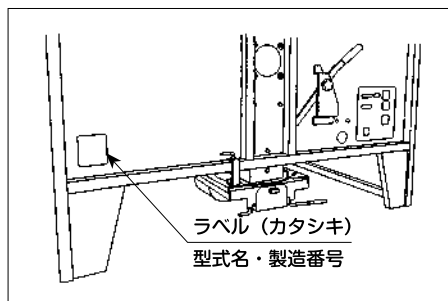
**補足** : その他、使用上役立つ補足説明を示します。

## ■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



### ⚠ 警告

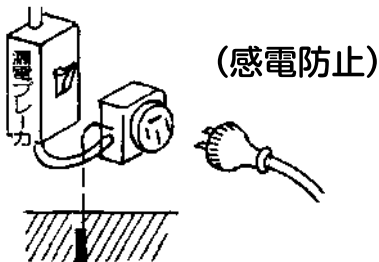
- 本製品は稲もみや麦などの、こく粒搬送用としてご使用ください。
- 使用目的以外の作業や改造はしないでください。

# ⚠ 安全のため必ずお守りください

使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

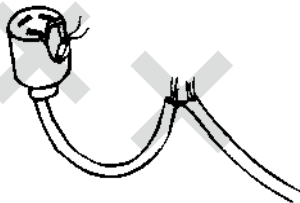
機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

漏電ブレーカー付で、アース接続のされてあるアース付4Pコンセント使用



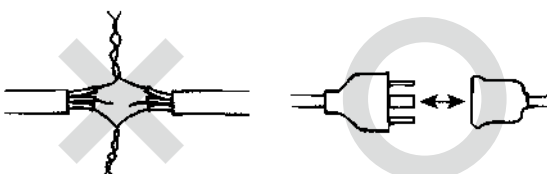
コードやプラグがいたんだらすぐに交換

(感電・火災防止)



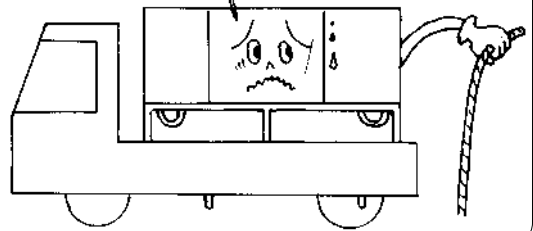
電源コードの延長はプラグ、コンセントで接続

(感電・火災防止)

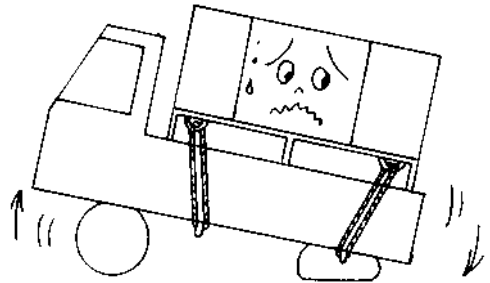


トラックへはロープで固定

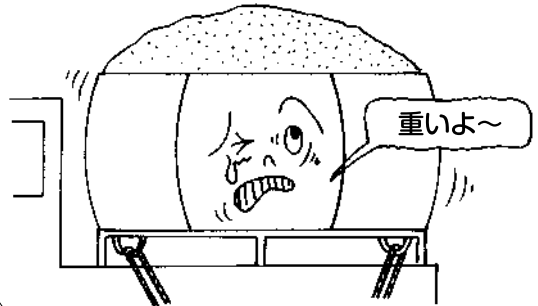
ロープでしばってー



トラックの積載量を守る

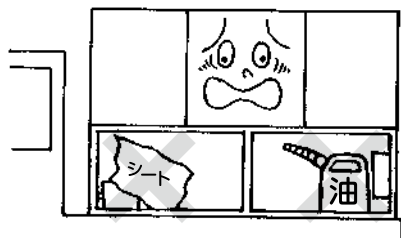


本機の最大積載量以上積まない



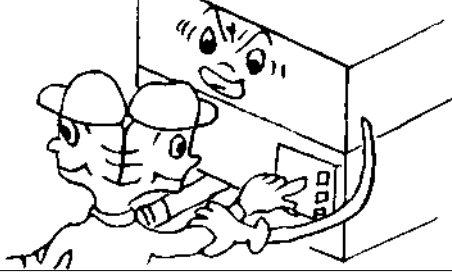
モータやコントロールボックスの近くに燃えやすいものを置かない

(火災防止)

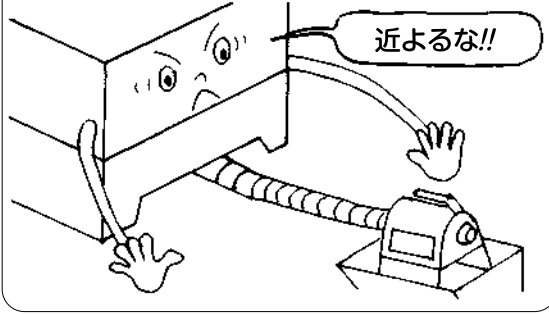


# ⚠ 安全のため必ずお守りください

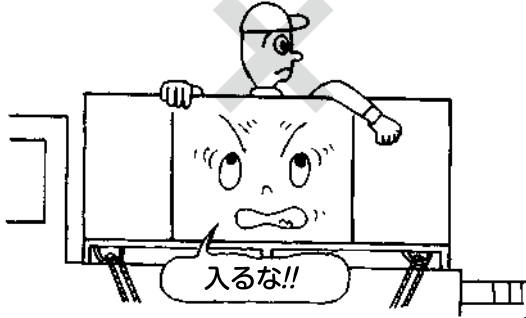
周囲の安全を確認してから  
スイッチON



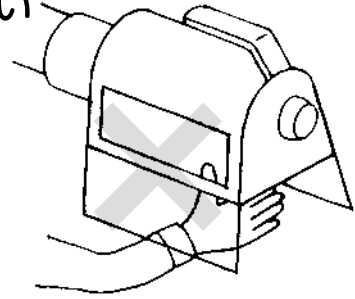
運転中は人を近づけない



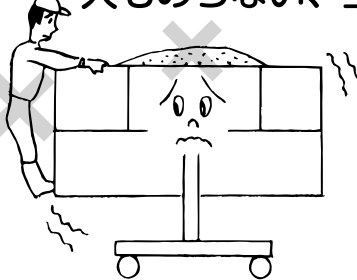
ホッパの中に入らない



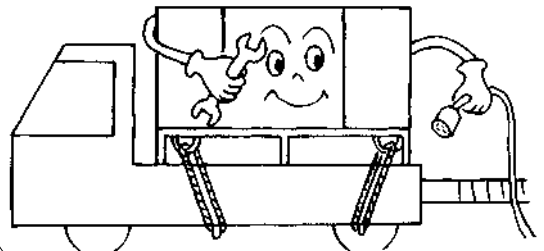
運転中は排出口に絶対手を入れない



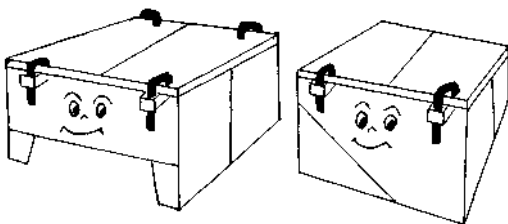
収納台使用时、荷はのせない・  
人もものらない、空で使用



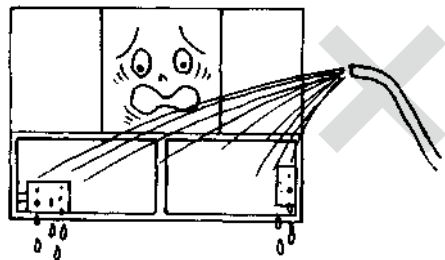
点検はスイッチを切り、プラグ  
を抜いてから



パネル格納時はパネルロッドで  
固定すること



モータやコントロールボックス  
に水をかけない



# ⚠ 安全のため必ずお守りください

## 使用前に安全ラベルをよく読む

- トラックコンベア、直結バネコンには次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

### ① 品番 22142-3115-1

#### ⚠ 注意

運搬中はロープでしっかり固定すること。  
トラックの荷台から落下する危険があります。

22142-3115-1

### ② 品番 22132-3115-1

#### ⚠ 注意

1. 安全に作業するために、必ず取扱説明書をよく読んで機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。
2. 取扱説明書がない場合は購入店に連絡し、取寄せてください。

### ③ 品番 24117-1174-1

#### ⚠ 注意

使用トラックの積載量を遵守のこと。

24117-1174-1

### ④ 品番 22142-3112-1

#### ⚠ 注意

下のスクリュケースを開けたまま回転しないこと。  
スクリュに巻き込まれケガをすることがあります。

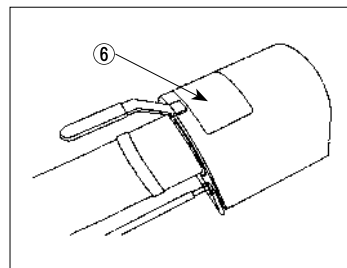
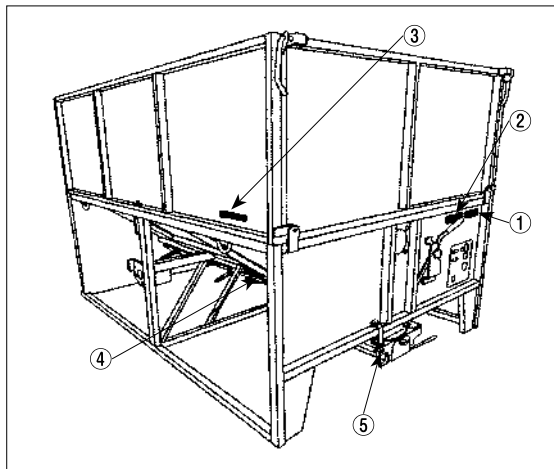
22142-3112-1

### ⑤ 品番 22184-3113-1

#### ⚠ 警告

中に回転物がありケガをしますので、  
手を入れないこと。

22184-31131



### ⑥ 品番 22731-4113-1

#### ⚠ 警告

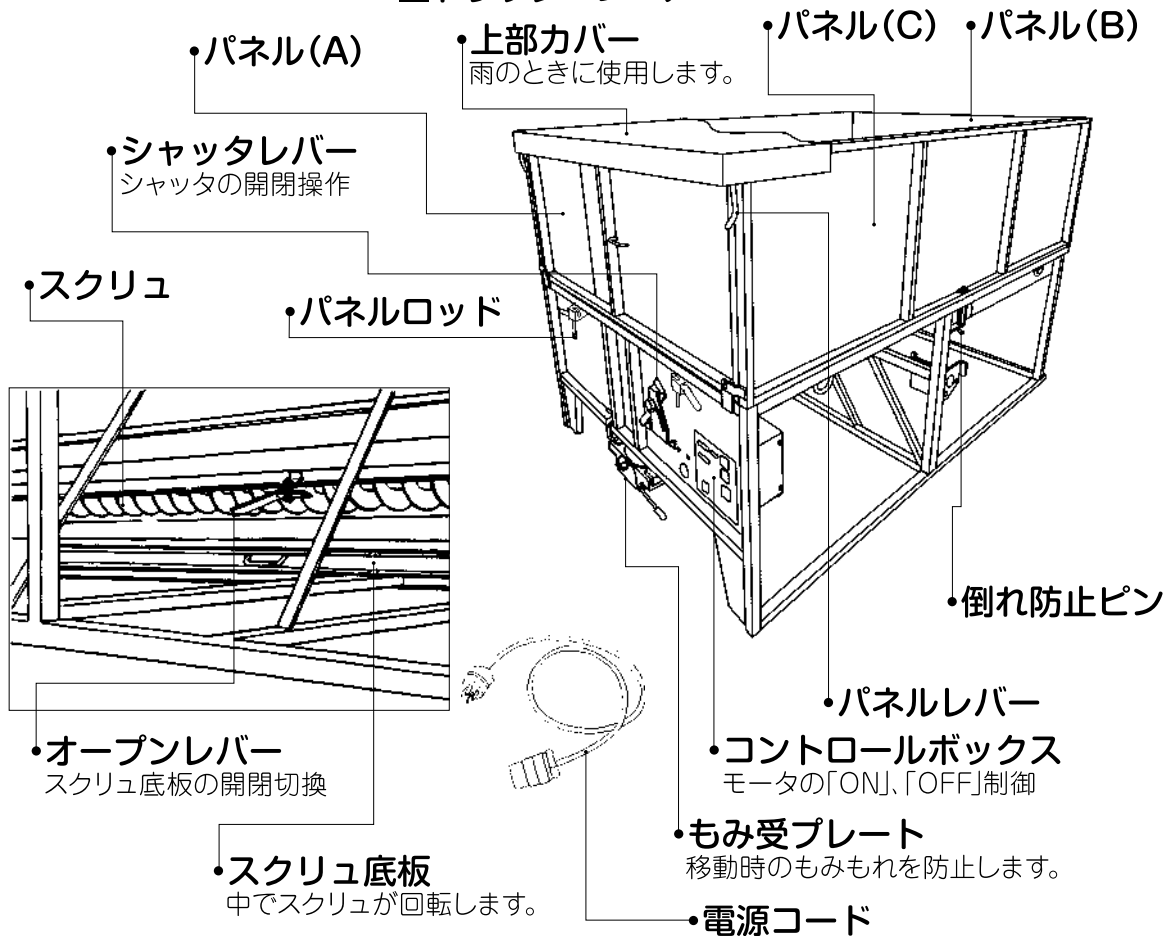


1. 排出口には絶対に手を入れないこと。
2. ワラクス等の堆積を取除く時は必ず、電源コードを抜いてから行うこと。運転中は一時停止しても又すぐに回転し、危険です。

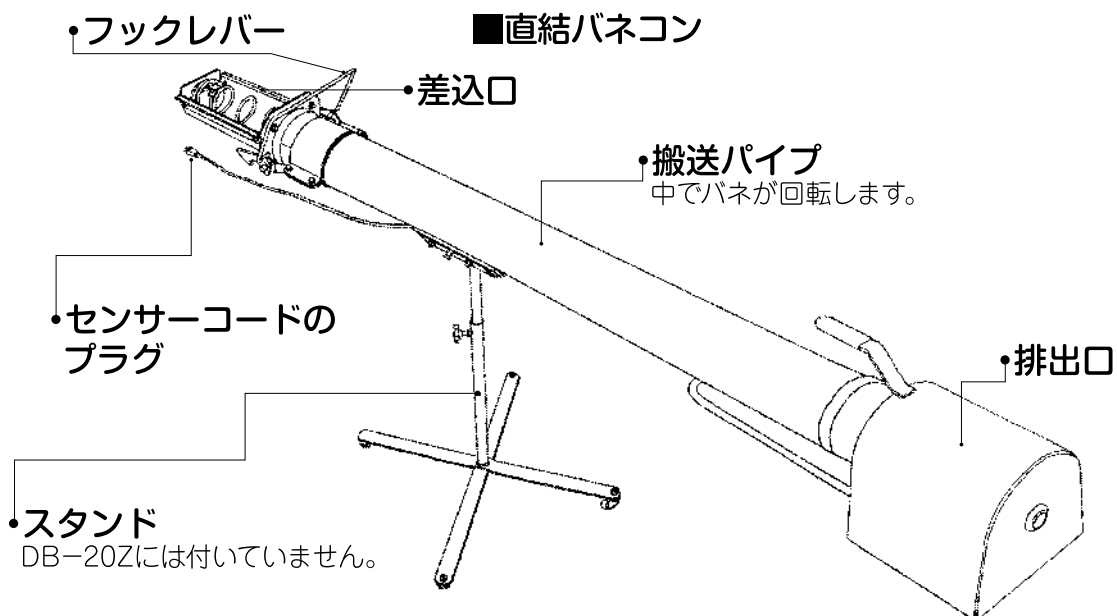
- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルが貼付けされている部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

# 各部の名称とはたらき

## ■トラックコンベア



## ■直結バネコン



## ■コントロールボックス

**オート正転システム** ……電源スイッチ「ON」を押すと、自動的に正転に切替ります。

**自動コントロール** ……あふれ防止センサーにより、排出口がもみで一杯になるとモータが停止し、もみが少なくなると自動的に運転を再開します。  
空転防止センサーにより、本機ホッパのもみがなくなるとモータが停止します。

### ●電源スイッチ

「ON」を押すと電源ランプが点灯し、約5秒後にモータが回転します。

### ●停止スイッチ

「OFF」を押すとすべての運転を停止します。

### ●自動停止ランプ

運転中にセンサーが作動して、モータが一時停止している間点灯します。

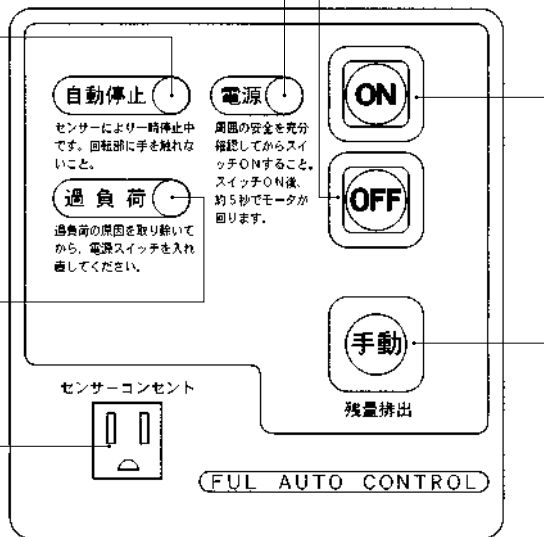
### ●電源ランプ

電源スイッチがON(入)になっていると点灯します。

### ●過負荷ランプ

モータ保護のため、定格以上の過電流が流れるとモータが自動停止し、ランプが点灯します。

再起動は過負荷の原因を取除いてランプが消えてから、再度電源スイッチ「ON」を押します。



### ●電源プラグ

電源コードのコンセントを差込みます。

### ●センサーコンセント

直結バネコンのセンサーコードを差込みます。

### ●手動スイッチ

残留もみを排出するとき使用します。センサーの作動に関係なく、押しているときだけモータが回転します。

# 使用前の準備

## 警告

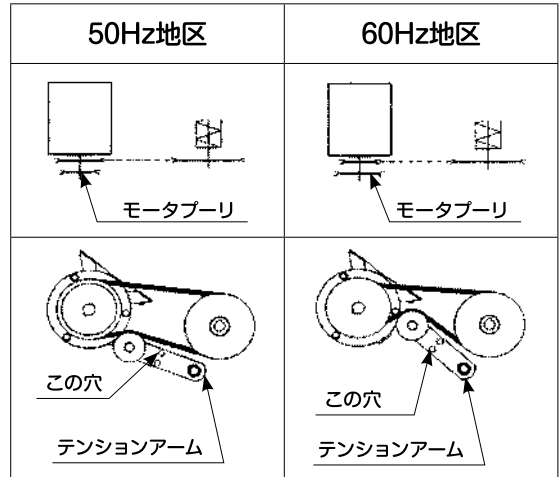
●準備作業は必ず電源コードを抜いた状態で行なってください。

1. モータプーリとテンションスプリングのセット  
50Hzと60Hz地区ではモータプーリのセット方向、及びテンションスプリングのセット位置が右図の様に異なります。使用前にモータプーリのセット方向を確認し、自地区に合致していない場合は次の要領でセットし直してください。

- ①モータプーリを逆向きにセットする。
- ②テンションスプリングのテンションアーム側引っ掛け位置を図の位置に移動する。

### 重要

●モータプーリ、及びテンションスプリング引っ掛け穴位置は必ず地区に合った状態で使用してください。周波数が合致しないと詰まったり、搬送能力が低下します。



## 2. パネルの組付け

### KD-08・11・15タイプ

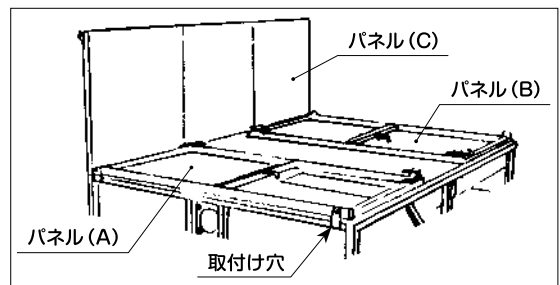
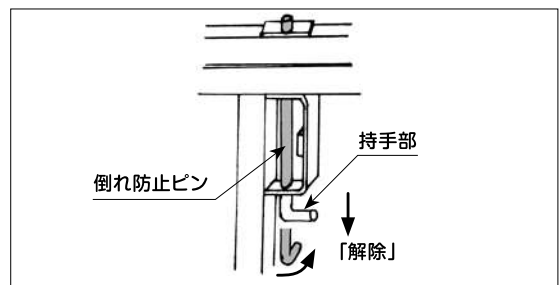
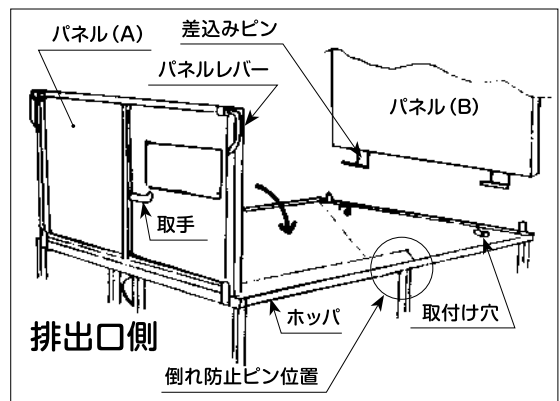
- ①パネル (A) の差込みピンをホッパの排出口側の取付け穴に差込み、取手を持ってホッパ内側へ倒す。(パネル (A) にはTRACK Conveyorのラベルが貼ってあります。)
- ②パネル (B) を同様に組付ける。
- ③倒れ防止ピンの持手部を下に引き、内又は外側に回し「解除」にする。(両側2箇所)
- ④パネル (C) の差込みピンをホッパの取付け穴に差込み、ヒラザガネ及びスナップピンを組付ける。

ヒラザガネ…………… 1 個  
スナップピン…………… 1 個

- ⑤倒れ防止ピンを回してパネルの穴に差込む。
- ⑥反対側のパネル (C) も同様に組付ける。

ヒラザガネ…………… 1 個  
スナップピン…………… 1 個

- ⑦パネル (A)、及びパネル (B) を取手を持って引き、パネルレバーで各々ロックする。





### KD-23・31タイプ

- ①パネル取付けカナグ1、2をボルトでホッパ  
に取付ける。

M8×16ボルト……………4個

- ②パネル(A)の差込みピンをホッパの排出口  
側取付け穴に差込み、取手を持ってホッ  
パ内側へ倒す。(パネル(A)にはTRACK  
Conveyerのラベルが貼ってあります。)

- ③パネル(B)を同様に組付ける。

- ④倒れ防止ピンの持手部を下に引き、内または  
外側に回し「解除」にする。パネル固定、ピ  
ンは横に引き、手前に回し「解除」の位置に  
すること。(両側6箇所)

- ⑤パネル(D)の差込みピンをパネルに取付け、  
カナグ1の穴に差込み、ヒラザガネ及びス  
ナップピンを組付ける。

ヒラザガネ……………1個

スナップピン……………1個

- ⑥倒れ防止ピンを回して、パネルの穴に差込む。

- ⑦パネル(C)の差込みピンとパネルをつなぎ、  
ピンをそれぞれパネル取付けカナグ2とパネ  
ル(D)の穴に差込む。

- ⑧倒れ防止ピン、パネル固定ピンを回してパネ  
ルの穴に差込む。

- ⑨パネルつなぎピンをナットで固定する。

M8フランジナット……………1個

- ⑩反対側のパネル(C)、(D)も同様に取付  
ける。

ヒラザガネ……………1個

スナップピン……………1個

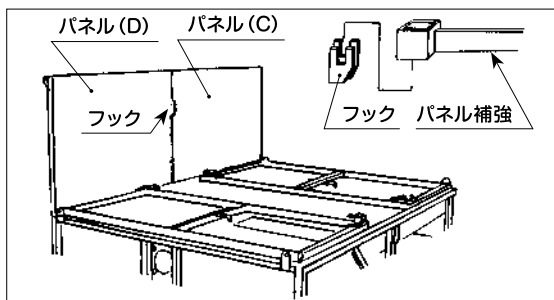
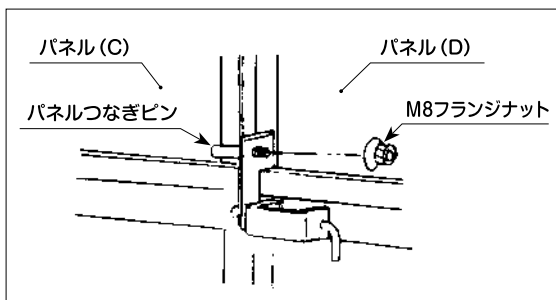
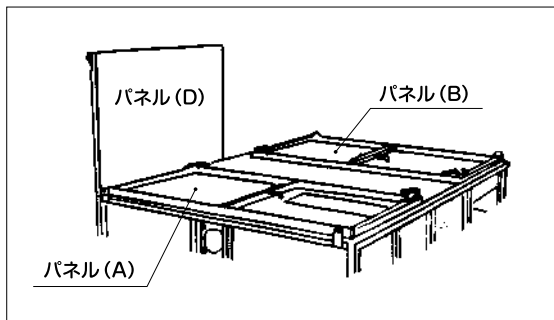
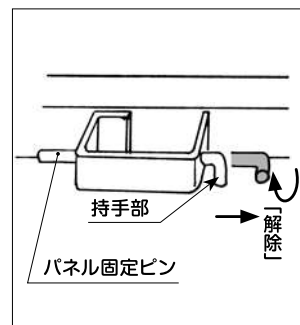
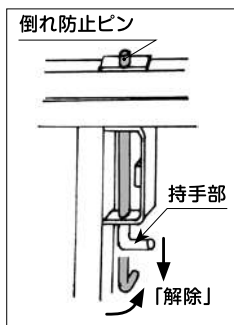
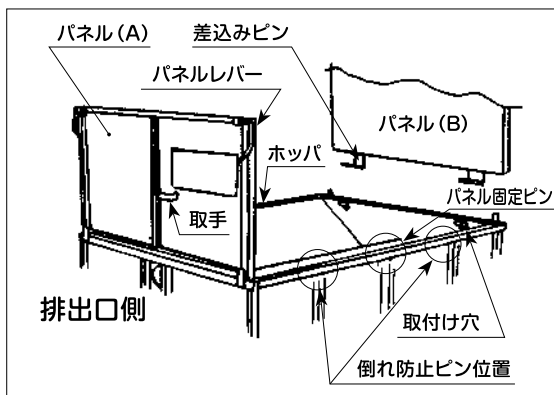
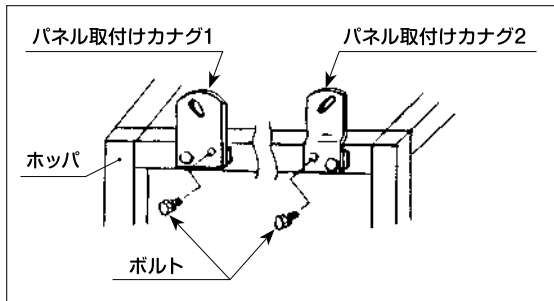
M8フランジナット……………1個

- ⑪パネル(A)及びパネル(B)を取手を持って  
引き、パネルレバーで各々ロックする。

- ⑫パネル補強をフックに差込む。

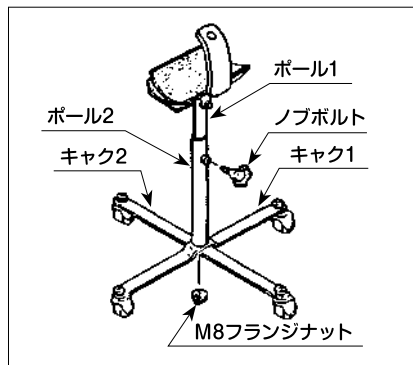
22タイプ……………1個

31タイプ……………2個



### 3. スタンドの組付け DB-30・40・50・65Z

- ①ポール2のネジ部をキャク1とキャク2の中央穴部に入れ、ナットで固定する。  
M8フランジナット……………1個
- ②ポール1をポール2に差込み、ノブボルトで固定する。  
M8ノブボルト……………1個



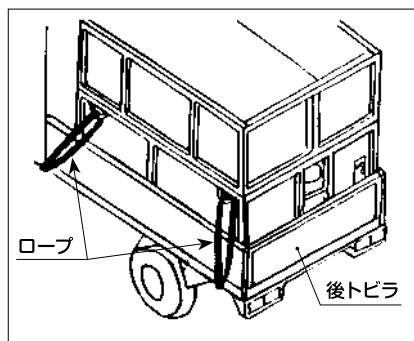
### 4. 車両への搭載



**警告**

- 車両への積込み、積降しは危険が伴います。手や足をはさまないように、また落下させないようにじゅうぶん注意してください。
- 運搬中に車両の荷台から落下したり、移動したりすることのないよう、必ずロープでしっかりと固定してください。またロープは頑丈でしっかりとした物を使用してください。
- トラックコンベア搭載後、車両の後トビラを必ず閉じてください。後トビラを開けた状態では車両の指示ランプ、リフレクタなどが後続車に見えず、危険です。

- ①直結バネコンを使用せずにオプションのZスクリーンを使用して直接ピットなどへ排出する場合は、トラックコンベアの排出口側を車両荷台の後トビラ面ギリギリまで近づけて搭載します。
- ②トラックコンベアの4隅をロープで車両へ固定します。



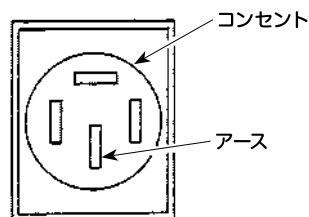
### 5. 電源盤の確認



**警告**

- 電源盤のコンセントはアース付4P（必ずアース接続がされていることを確認のこと）を使用してください。電源盤には漏電ブレーカを必ず取付けてください。これらが設置されていないと、感電や漏電のおそれがあります。
- 電源コードを延長して使用する場合は、必ず1.25mm以上のコードを使用し、接続はプラグ、コンセントを使用してください。  
1.25mm未満のコードを使用したり、コード同士を直接接続しますと、コードが過熱し、ショートや火災のおそれがあります。

- ①電源は三相200Vを使用します。
- ②コンセントはアース付4Pで20Aサイズを使用します。
- ③電源盤のブレーカ及び漏電ブレーカの容量は15A以上必要です。



### **重要**

- 電気配線工事は、電気設備技術基準関係法令・規則に従って必ず「法的有資格者」（電気工事士）が行なってください。

## 6. 作業前の作動確認

### 警告

- カバークラスは必ず取付けてから行なってください。
- もみ受けプレートは必ず装着した状態で行なってください。
- スイッチを入れるときは、周囲の人々に合図をして、安全をじゅうぶん確認してください。
- ツメクラッチ部には絶対に手を触れないでください。

作業前に作動確認をされる場合は、次の要領で確認してください。

- ①もみ受けプレートを装着する。
- ②電源コードを電源盤のコンセントと本体の電源プラグに接続する。
- ③電源スイッチ「ON」を押します。（自動停止ランプは点灯するがモータは回転しない。）
- ④手動スイッチを押し、押しをしているときだけモータが回転すれば正常です。
- ⑤もし、異常のある場合はP15を参照してください。

## 作業のしかた

### 警告

- カバークラスを外したり、開けたままでは絶対に作業しないでください。回転体に巻き込まれ、ケガをすることがあります。
- 車両走行時にはパネルを格納しないでください。パネル（A）、（B）が外れ、落下することがあります。

### 1. コンバインからトラックコンベアへの張り込み

#### 警告

- 積載量は使用車両の積載量制限を守ってください。過積載は道交法違反だけでなく、車の操縦安定性が悪くなり、大変危険です。

コンバインからトラックコンベアへもみを投入するときは、必ずシャッタを「閉」にしてください。移動のときはもみ受けプレートを装着してください。外したままで移動すると、残留もみがもれてくる可能性があります。

#### 重要

- シャッタを「開」のままでもみを投入すると、排出口からもみがもれます。また排出時に詰まる場合があります。
- トラックコンベアの保証強度は08～15タイプで1.5t、22・31タイプで3.1tです。それ以上の積載は絶対にしないでください。

### 2. 排出作業

#### 危険

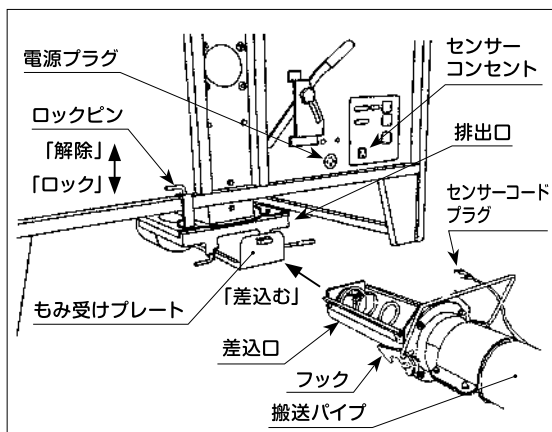
- 運転中は排出口の中に絶対に手を入れないでください。センサーで一時的に回転が停止しても、すぐに回り出し、大変危険です。
- 運転中は周囲に人を近づけないでください。特にお子さんには注意してください。
- 運転中に異常が発生した場合は、すぐにスイッチを切り、電源コードを抜いてから点検してください。
- 機械から離れるときは必ずスイッチを切ってください。
- 運転中はホッパの中に絶対に入らないでください。スクリュに足などが巻き込まれる危険があります。

## 警告

- 電源スイッチ「ON」を押した後、約5秒でモータが回ります。
- スイッチを入れるときは、補助者や周囲の人に合図をして、安全をじゅうぶん確認してください。
- 電源コードのプラグ、コンセントはプラスチック製のため、落下などの衝撃で破損するおそれがあります。取扱いにはじゅうぶん注意してください。  
もし破損した場合は、すぐに部品を交換してください。そのまま使用しますと、感電や漏電の危険があります。

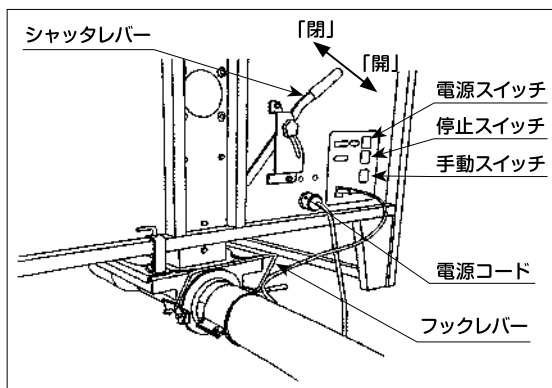
### 乾燥機へ直結バネコンで排出

- ①直結バネコンの排出口を乾燥機ホッパにセットする。
- ②もみ受けプレートを外してから、直結バネコン差込口をトラックコンベア排出口にフックが引っ掛かるまで差込む。
- ③センサーコードのプラグをセンサーコンセントに差込む。
- ④搬送パイプがたるまないようスタンドで支える。



### 重要

- 搬送パイプは急に曲げないで、出来るだけ自然な状態で設置してください。（曲げ半径1.5m以下の急な曲げ方は絶対にしないでください。）
  - 搬送パイプを角に当てないでください。角に当てると早期に損傷します。
- ⑤電源コードを電源盤のコンセントと本体の電源プラグに接続し、電源スイッチ「ON」を押す。
  - ⑥シャッターレバーを「開」にしてもみを排出します。排出口がもみで一杯になるとモータが停止し、少なくなると自動的に運転を再開します。本機ホッパ内のもみがなくなると自動的に停止します。  
最後に残った残留もみは手動スイッチを押して排出します。



### 重要

- 高水分の小麦などにより、過負荷でモータが自動停止し、過負荷ランプが点灯する場合は、シャッターの開度を調節して排出量を少なくしてください。
- ⑦排出が完了したら、停止スイッチ「OFF」を押し、電源コードを抜きます。センサーコードのプラグを抜き、フックレバーを押下げて直結バネコンを外します。シャッターを「閉」にして、もみ受けプレートを装着します。

### ピットへ直排出

直排出はオプションのZスクリーを使用して行ないます。

# 日常点検

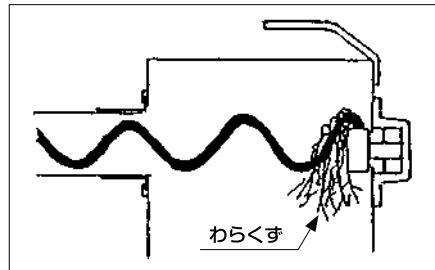
## 警告

- 点検は必ずスイッチを切り、電源コードを抜いてから行なってください。

1. 毎日作業前に排出口のバネにからまっているわらくすなどを取除いてください。
2. プラグやコードが損傷していないか点検してください。

## 重要

- 排出口のバネにわらくすが大量にからまると、搬送能力が低下するだけでなく、搬送パイプが損傷する場合があります。



## 警告

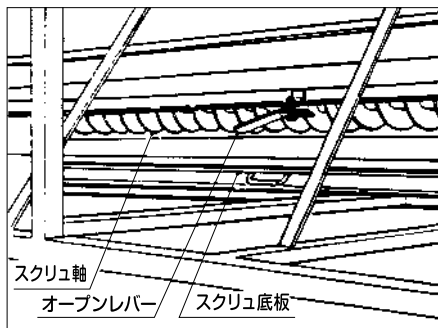
- プラグやコードが損傷した場合は、すぐに交換してください。そのまま使用しますと感電や火災の危険があります。

# 長期格納のしかた

1. オープンレバーを解除して、スクリュ底板を開き、残留もみを取除いてください。
2. 直結バネコンの排出口と差込口部のバネに、油を薄く塗布してください。
3. パネルを格納する場合は次のようにしてください。

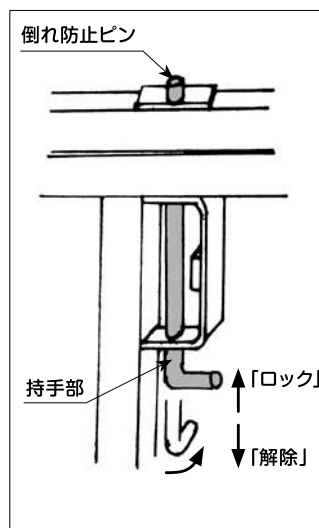
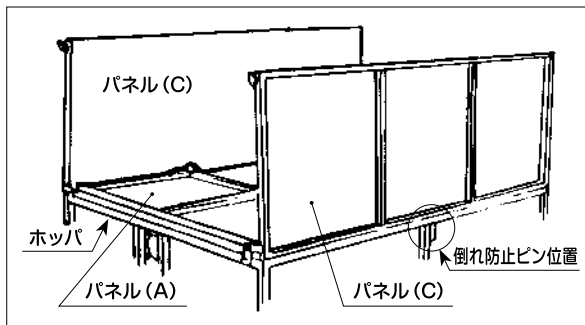
## 警告

- 格納時には必ずパネルロッドでパネルを固定すること。



## KD-08・11・15タイプ

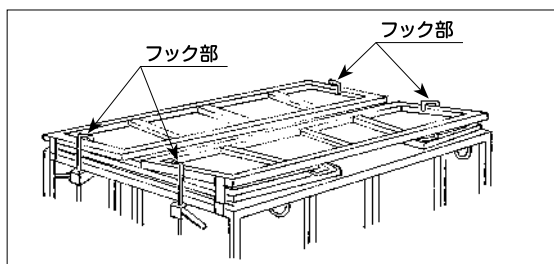
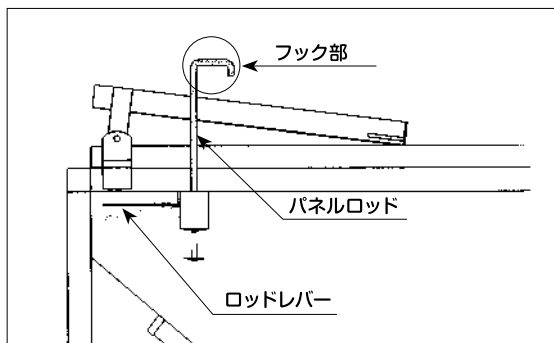
- ①パネルレバーのロックを外し、パネル（A）の取手を持ってホッパ内側へ倒す。このとき、倒れ防止ピンが「ロック」の位置にあることを確認する。
- ②同様にパネル（B）を倒す。
- ③倒れ防止ピンの持手部を下に引き、内又は外側に回し「解除」の位置にする。
- ④パネル（C）をホッパ内側へ倒す。



- ⑤反対側のパネル（C）も同様に倒す。
- ⑥ロッドレバーを水平に保持し、パネルロッドを持ち上げる。
- ⑦パネルロッドを押し下げ、パネルの角パイプにフック部を引っかける。

### 重要

- パネルを内側に倒すときは最後まで手を添えて静かに倒してください。途中で手を放して急激に倒すと変形、破損のおそれがあります。
- パネルロッドを下げるときはロッドレバーの操作は不要です。

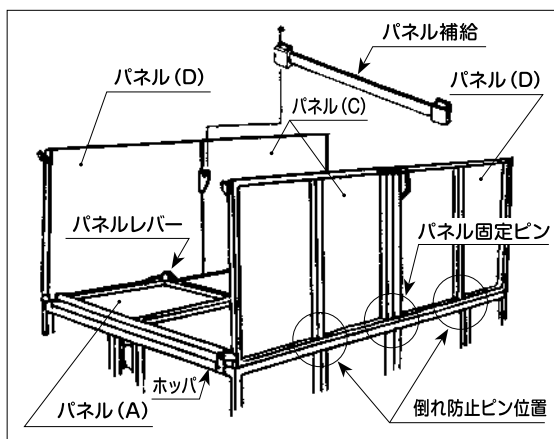
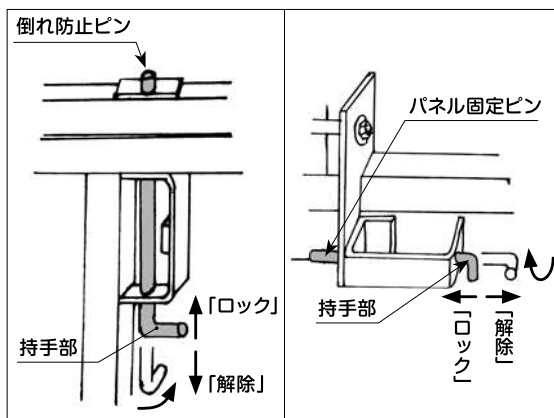


### KD-22・31タイプ

- ①パネルレバーのロックを外し、パネル（A）の取手を持ってホッパ内側へ倒す。このとき、倒れ防止ピンが「ロック」の位置にあることを確認する。
- ②同様にパネル（B）を倒す。
- ③パネル補強を外す。
- ④倒れ防止ピンは持手部を下に引き、内又は外側に回し「解除」の位置にする。パネル固定ピンは横に引き、手前に回し「解除」の位置にする。
- ⑤パネル（C）と（D）は一体のまま倒す。
- ⑥同様に反対側のパネルを倒す。
- ⑦ロッドレバーを水平に保持し、パネルロッドを持ち上げる。
- ⑧パネルロッドを押し下げ、パネルの角パイプ部にフック部を引っかける。

### 重要

- パネルを内側に倒すときは最後まで手を添えて静かに倒してください。途中で手を放して急激に倒すと変形、破損のおそれがあります。
- パネルロッドを下げるときはロッドレバーの操作は不要です。



## 補 足

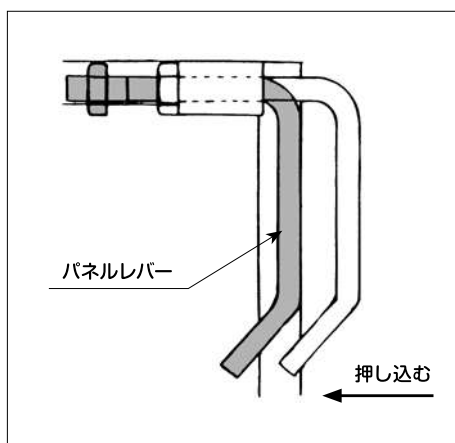
パネルの組立てはパネルの格納の逆の要領で行ないます。

## 重 要

- パネル (C)、(D) を起すときは必ず次の事を守ってください。

1. 倒れ防止ピン・パネル固定ピンが「解除」の位置にあることを確認すること。
2. パネルレバーをパネルの縁より内側に押し込むこと。

上記のことを守らないとパネル、倒れ防止ピン・パネル固定ピンが変形、破損するおそれがあります。



- 4 ● 収納台をセットして保管する場合は転倒しないよう平らな場所におき、人が乗ったり物を載せないようにしてください。

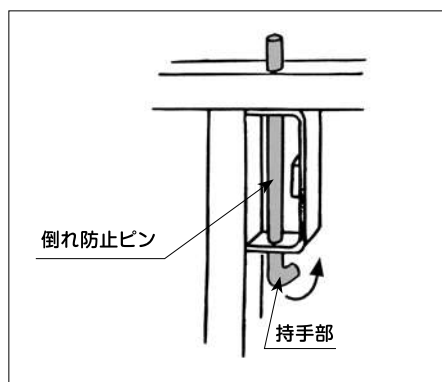
● 収納台を使用しないで横に起こして保管する場合は、本機モータを上にして、パネル倒れ防止ピンの持手部を内側に回し、本機より出さないでください。倒れ防止ピンが変形するおそれがあります。

また、モータを下にして起すとパネル (A)、(B) が外れ、落下します。

(22、31タイプはこの方法では収納できません。)

- 5 ● 機械は風雨のあたらない、ごみのない乾燥した場所に保管してください。もし戸外におく場合は雨水が掛からないようにシートでおおってください。特に電装部には絶対水が入らないようにしてください。

保管中は、特にお子さんが近づかないように注意してください。



## 重 要

- もみ、わらくずが残っていると、ネズミの巣になり、コードなどがかじられて、次の年の作業に支障をきたすことがありますから、きれいに除去してください。
- バネが錆び付くと、バネ強度が低下します。

## 警告

- 電装品には水を掛けしないでください。感電や漏電の危険があります。

# 不調の原因と処置



- 点検・調整は必ずスイッチを切り、電源コードを抜いてから行なってください。

現 象		原 因	処 置
モータが回らない	電源ランプが点灯しない	電気がきていない	電源、電源コードの点検（注1）
		電源スイッチが入っていない	電源スイッチ「ON」を押す
		電源欠相	電源、電源コードの点検（注1）
	電源ランプが点灯する（手動スイッチを押しても回らず、またはうなる）	電源欠相	電源、電源コードの点検（注1）
	自動停止ランプが点灯（手動スイッチを押すと正常に回る）	ホッパ内にもみが定量入っていない	定量以上入れる
		もみセンサーの故障	交換
タイマの故障		交換	
過負荷ランプ点灯	過負荷保護機能が作動（サーマルリレーが作動）	原因を取除く（注2）	
もみを送らない 詰まる	Vベルトがスリップ	ベルトの点検	
	搬送パイプの曲がり小さすぎる（曲げ半径1.5m以下）	もみを除去し（注3）曲げ半径1.5m以上にする	
	異物の混入	異物の除去	
	60Hz地区で50Hz仕様で使っている	60Hz仕様にする（P7参照）	
乾燥機ホッパからもみがあふれてしまう	センサーコンセントにパネコンのセンサーコードプラグが差込まれていない	プラグを差込む	
	もみセンサーとセンサーコードの接続部がはずれている	確実に接続する	
	もみセンサーの故障	交換	
	排出口がホッパより上がっていてもみセンサーが作動しない	排出口を下げる	

- 注) 1. ネズミなどの害によりコードが断線し、短絡、漏電する場合がありますので作業前に各コードをじゅうぶん点検してください。
2. 異常負荷がかかるとモータ保護のため、自動的にモータが停止し、過負荷ランプが点灯します。原因として搬送装置の詰まり、わら、異物の混入、ベルトのゆるみ、搬送パイプの曲げ方、配線などの不具合、60Hz地区で50Hz仕様になっているなどが考えられます。じゅうぶん点検し、原因を取除いた上、過負荷ランプが消えるのを待って、再度電源スイッチ「ON」を押してください。
3. 直結パネコンをトラックコンベアより外し、パイプの中央を高く持ち上げ、入口側と出口側にパイプを外からたたくようにしてもみを排出してください。



# 仕 様

## ■トラックコンベア

型 式	KD-08ZT	KD-11ZT	KD-15ZT	KD-22ZT	KD-31ZT
全 長 (mm)	1,855			2,743	
全 幅 (mm)	1,290			1,560	
全 高 (mm)	1,020	1,230	1,510	1,300	1,640
重 量 (kg)	180	189	202	255	292
積 載 量 (kg)	約800(25袋)	約1,100(37袋)	約1,500(50袋)	約2,200(72袋)	約3,100(103袋)
排 出 量 (t/時)	最大 19				
排出所要時間 (分)	2.5~4	3.5~5.5	5~7.5	7~11	10~15.5
使用電力 (V)	三相200				
動 力 (kW)	0.75+1.5				

## ■直結バネコン

型 式	DB-20Z	DB-30Z	DB-40Z	DB-50Z	DB-65Z
有 効 長 (m)	2.0	3.0	4.0	5.0	6.5
重 量 (kg)	13.5	16.5	20.0	23.0	28.0
スタンド (個)		1	1	1	2

# オプション

## ■リバースキャスター

トラックコンベアへの積み込み、積降しに大変便利です。

適 応 機 種	適応トラック	品 番	品 名
KD-08~15タイプ	軽 四	22837-0000-0	リバースキャスター (KS-6)
KD-22・31タイプ	1 ~ 2 t	22830-0000-0	リバースキャスター (KS-5L)

\*KS-5Lは、2tトラックのロングボデーには、幅寸法が不足するため適応できません。

## ■Zスクリーン

ピットなどに排出するときに使用します。

適 応 機 種	品 番	品 名
KD-ZT全機種	22818-0000-0	Zスクリーン (KD-ZP)

## ■スタンド

DB-Zの搬送パイプをささえるキャスター付のスタンドです。

適 応 機 種	品 番	品 名
DB-Z全機種	22844-0000-0	スタンド (F-1)

## ■フォークリフトキット

フォークリフトでトラックコンベアの積み込み、積降しするときに使用します。

適 応 機 種	品 番	品 名
KD-22-31タイプ	22857-0000-0	フォークリフトキット (KD-FK)

# 消耗部品

型 式	品 番	品 名	備 考
KD-08~15	22184-1121-1	シャフト (スクリュ)	
KD-22~31	22187-1121-1	シャフト (スクリュ)	
KD-08~31	22184-1164-1	Vベルト	LB又はSB-29
	22875-3142-1	モミセンサー (a接点)	
DB - 20 Z	22743-1123-1	スプリング (ハンソウ)	
DB - 30 Z	22767-1123-2	ハンソウバネ	
DB - 40 Z	22744-1123-1	スプリング (ハンソウ)	
DB - 50 Z	22768-1123-2	ハンソウバネ	
DB - 65 Z	22742-1123-1	ハンソウバネ	
DB - 20 Z	22802-1126-1	パイプ (ハンソウ)	
DB - 30 Z	22803-1126-1	パイプ (ハンソウ)	
DB - 40 Z	22804-1126-1	パイプ (ハンソウ)	
DB - 50 Z	22805-1126-1	パイプ (ハンソウ)	
DB - 65 Z	22806-1126-1	パイプ (ハンソウ)	

# 安全説明確認カード

説明者（販売店・農協）控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名

印

販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

## 基本事項

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

## 作業について

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。	
3. 車両への積込み、積降し作業はじゅうぶん注意すること。	
4. 車両へはロープでしっかり固定すること。	
5. 車両の後トビラを必ず閉じること。	
6. 電源盤のコンセントはアース付4P（アース接続がされていること）を使用すること。	
7. 漏電ブレーカを必ず取り付けること。	
8. 電源コードを延長する場合は、プラグ、コンセントを使用すること。	
9. 使用車両の積載量制限を守ること。	
10. 本機の最大積載量以上積まないこと。	
11. モータやコントロールボックスの周辺に燃えやすいものを置かないこと。	
12. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。	
13. カバーを外したり、開けたままでは絶対にスイッチを入れないこと。	
14. 運転中は周囲に人を近づけないこと。	
15. 運転中は排出口の中に絶対手を入れないこと。	
16. 運転中はホッパの中に入らないこと。	
17. 運転中に異常が発生したときは、すぐにスイッチを切り、電源コードを抜くこと。	
18. 機械から離れるときは、必ずスイッチを切り、電源コードを抜くこと。	
19. パネル格納時には必ずパネルロッドで押さえること。	
20. 車両走行時にパネルを格納しないこと。	

## 点検・格納について

チェック

1. 点検・調整はスイッチを切り、電源コードを抜いてから行なうこと。	
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。	
3. 電装品には水を掛けないこと。	

（注）本カードは説明者（販売店・農協）が保管しておいてください。KD-ZT



# 安全確認一覧表

## 基本事項

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

## 作業について

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。
3. 車両への積込み、積降し作業はじゅうぶん注意すること。
4. 車両へはロープでしっかり固定すること。
5. 車両の後トビラを必ず閉じること。
6. 電源盤のコンセントはアース付4P（アース接続がされていること）を使用すること。
7. 漏電ブレーカを必ず取り付けること。
8. 電源コードを延長する場合は、プラグ、コンセントを使用すること。
9. 使用車両の積載量制限を守ること。
10. 本機の最大積載量以上積まないこと。
11. モータやコントロールボックスの周辺に燃えやすいものを置かないこと。
12. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。
13. カバーを外したり、開けたままでは絶対にスイッチを入れないこと。
14. 運転中は周囲に人を近づけないこと。
15. 運転中は排出口の中に絶対手を入れないこと。
16. 運転中はホッパの中に入らないこと。
17. 運転中に異常が発生したときは、すぐにスイッチを切り、電源コードを抜くこと。
18. 機械から離れるときは、必ずスイッチを切り、電源コードを抜くこと。
19. パネル格納時には必ずパネルロッドで押さえること。
20. 車両走行時にパネルを格納しないこと。

## 点検・格納について

1. 点検・調整はスイッチを切り、電源コードを抜いてから行なうこと。
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。
3. 電装品には水を掛けないこと。

## 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使ってください。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



### 株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地  
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地  
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区长嶺南1丁目1番10号  
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 22191-1151-1